

Patent number:	JP2001312699
Publication date:	2001-11-09
Inventor:	TAKAHASHI KIYOSHI
Applicant:	DENSO CORP
Classification:	
- International:	G06K17/00; B42D15/10; G06K19/07
- european:	
Application number:	JP20000130311 20000428
Priority number(s):	JP20000130311 20000428

Abstract of JP2001312699

```

sequenceDiagram
    participant Host as 1  

    participant Tape as 2  

    participant Card as 3
    Note over Card: ICカード  
(ICカード方式)
    Tape->>Host: 通信方式1の無送コマンド
    Host->>Tape: コマンド判定
    Note over Host: 通信方式1で初期コマンド送付  
(タイムアウト)
    Card->>Host: ICカードからの応答なし
    Host->>Tape: 通信方式2の初期コマンド
    Host->>Tape: コマンド判定
    Note over Host: 通信方式2で初期コマンド送付  
(ICカードからのレスポンス)
    Card->>Host: ICカードからのレスポンス
    Host->>Tape: 通信方式を2に設定
    Host->>Tape: 通信方式を2に設定完了
    Note over Host: 送付済みのコマンド
    Host->>Tape: コマンド判定
    Note over Host: 通信方式2でコマンド送付  
(ICカードからのレスポンス)
    Card->>Host: ICカードからのレスポンス
    Host->>Tape: 通信方式1の初期コマンド
    Host->>Tape: コマンド判定
    Note over Host: 通信方式1で初期コマンド送付  
(タイムアウト)
    Card->>Host: ICカードからの応答なし
    Host->>Tape: 送付済みのコマンド
    Host->>Tape: コマンド判定
    Note over Host: 通信方式2でコマンド送付  
(ICカードからのレスポンス)
    Card->>Host: ICカードからのレスポンス
    
```

通信方式1の無送コマンド

コマンド判定

通信方式1で初期コマンド送付
(タイムアウト)

ICカードからの応答なし

通信方式2の初期コマンド

コマンド判定

通信方式2で初期コマンド送付
(ICカードからのレスポンス)

ICカードからのレスポンス

通信方式を2に設定

通信方式を2に設定完了

送付済みのコマンド

コマンド判定

通信方式2でコマンド送付
(ICカードからのレスポンス)

ICカードからのレスポンス

通信方式1の初期コマンド

コマンド判定

通信方式1で初期コマンド送付
(タイムアウト)

ICカードからの応答なし

送付済みのコマンド

コマンド判定

通信方式2でコマンド送付
(ICカードからのレスポンス)

ICカードからのレスポンス

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-312699

(P 2 0 0 1 - 3 1 2 6 9 9 A)

(43) 公開日 平成13年11月9日(2001.11.9)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)
G06K 17/00		G06K 17/00	D 2C005
			F 5B035
B42D 15/10	521	B42D 15/10	521 5B058
G06K 19/07		G06K 19/00	H

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 6 頁)

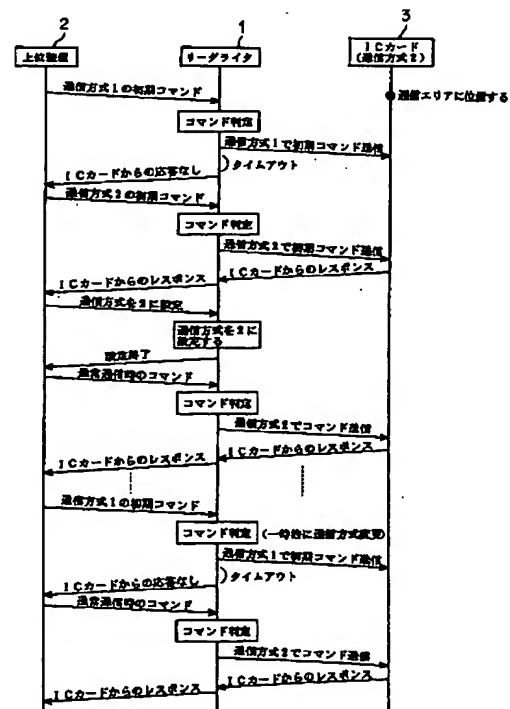
(21) 出願番号	特願2000-130311 (P 2000-130311)	(71) 出願人	000004260 株式会社デンソー 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地
(22) 出願日	平成12年4月28日(2000.4.28)	(72) 発明者	高橋 清志 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 株式会 社デンソー内
		(74) 代理人	100071135 弁理士 佐藤 強
		F ターム(参考)	2C005 MA27 NA06 TA05 TA22 5B035 BB09 CA23 5B058 CA17 CA23 KA40

(54) 【発明の名称】 非接触式 I C カード用リーダライタ

(57) 【要約】

【課題】 上位装置からの指令に応じて複数の通信方式及び通信速度で I C カードと通信することができるようにする。

【解決手段】 リーダライタ 1 は、上位装置 2 からの指令に応じて通信方式 1 で初期コマンドに続いて通信方式 2 で初期コマンドを送信する。このとき、通信エリアに位置する通信方式 2 の I C カード 3 が応答するので、そのことを上位装置 2 に返信する。以後においては通信方式 2 で I C カード 3 との通信を行う。ここで、リーダライタ 1 は、通信方式 2 の I C カード 3 との通信状態で上位装置 2 からの指令に応じて通信方式 1 の I C カード 3 が存在するかを検出するときは、通信方式 1 の初期コマンドを送信する。このとき、I C カード 3 からの応答は無いので、リーダライタ 1 は、そのことを上位装置 2 に返信してから、通信方式 2 に切替えることにより通信方式 2 の I C カード 3 との通信を再開する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 上位装置からの指令に応じて I C カードに対する初期通信動作に続いて通常通信動作を実行する非接触式 I C カード用リーダライタにおいて、通常通信動作時に前記上位装置からの指令に応じて I C カードに対する通信方式または通信速度などの通信態様を変更可能に設けられていることを特徴とする非接触式 I C カード用リーダライタ。

【請求項 2】 通常通信動作時に前記上位装置からの指令に応じて異なる通信方式で初期通信用のコマンドを送信し、その送信に応じて I C カードからの応答の有無を前記上位装置に送信すると共に、前記上位装置からの指令に応じて初期通信用以外のコマンドを送信するときは、当初の通信方式で送信することを特徴とする請求項 1 記載の非接触式 I C カード用リーダライタ。

【請求項 3】 通常通信動作時に前記上位装置からの指令に応じて異なる通信速度で初期通信用のコマンドを送信し、その送信に応じて I C カードからの応答の有無を前記上位装置に送信すると共に、前記上位装置からの指令に応じて初期通信用以外のコマンドを送信するときは、当初の通信速度で送信することを特徴とする請求項 1 記載の非接触式 I C カード用リーダライタ。

【請求項 4】 上位装置からの指令に応じて I C カードに対する初期通信動作に続いて通常通信動作を実行する非接触式 I C カード用リーダライタにおいて、通信方式または通信速度などの通信態様が異なる状態で I C カードと通信可能に設けられ、通信相手の I C カードに応じて通信態様を切替えることを特徴とする非接触式 I C カード用リーダライタ。

【請求項 5】 初期通信動作において I C カードに対応した通信態様を取得することを特徴とする請求項 4 記載の非接触式 I C カード用リーダライタ。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】 本発明は、上位装置からの指令に応じて I C カードに対する初期通信動作に続いて通常通信動作を行う非接触式 I C カード用リーダライタに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】 近年、非接触式 I C カードの通信方式として複数種類の通信方式（ASK 1 0 0 % / モディファイドミラー方式或いは ASK 1 0 % / NRZ 通信方式など）が標準化されつつある。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、特に近接タイプの非接触式 I C カードは、複数の通信方式が標準化されているものの、通信プロトコルやコマンドは同一に標準化されていることから、複数の通信方式を単一のリーダライタで実現することが望まれている。また、I C カードとの通信中にも異なる通信方式または通信速度で

通信できることが望まれている。

【 0 0 0 4 】 本発明は上記事情に鑑みてなされたもので、その目的は、上位装置からの指令に応じて複数の通信方式及び通信速度で I C カードと通信することができる非接触式 I C カード用リーダライタを提供することにある。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】 請求項 1 の発明によれば、リーダライタは、上位装置からの指令に応じて I C カードに対する初期通信動作に続いて通常通信動作を実行する。ここで、上位装置は他の I C カードと通信するときは、リーダライタに対して通信方式または通信速度を変更するように指令する。すると、リーダライタは、通常通信動作時に上位装置から指令を受けたときは、I C カードに対する通信方式または通信速度を変更するので、異なる通信方式または通信速度の I C カードと通信することができる。

【 0 0 0 6 】 請求項 2 の発明によれば、通常通信動作時において上位装置が異なる通信方式で I C カードとの通信を指令したときは、リーダライタは、異なる通信方式で初期通信用のコマンドを送信する。これにより、異なる通信方式の I C カードが通信エリアに位置している場合は、その I C カードが応答するので、リーダライタは、そのことを上位装置に返信する。

【 0 0 0 7 】 そして、上位装置が初期通信用以外のコマンドを送信することを指令したときは、当初の通信方式でコマンドを送信する。これにより、上位装置は、通常通信動作を中断した I C カードの通信方式を管理することなく、I C カードとの通信を再開することができる。

【 0 0 0 8 】 請求項 3 の発明によれば、通常通信動作において上位装置が異なる通信速度で I C カードとの通信を指令したときは、リーダライタは、異なる通信速度で初期通信用のコマンドを送信する。これにより、通信していた I C カードが異なる通信速度で通信可能な場合、或いは同一の通信方式で異なる通信速度で通信可能な I C カードが通信エリアに位置していたときは、その I C カードが応答するので、リーダライタは、そのことを上位装置に返信する。

【 0 0 0 9 】 そして、上位装置が初期通信用以外のコマンドを送信することを指令したときは、当初の通信速度でコマンドで送信する。これにより、上位装置は、通常通信動作を中断した I C カードの通信速度を管理することなく、I C カードとの通信を再開することができる。

【 0 0 1 0 】 請求項 4 の発明によれば、通信相手の I C カードに応じて通信態様を切替えるので、通信態様の異なる I C カードと素早く通信することができる。

【 0 0 1 1 】 請求項 5 の発明によれば、初期通信動作において I C カードに対応した通信態様を取得するので、通常通信動作において通信態様を取得する場合に比較して、通信シーケンスを単純化することができる。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施の形態を図1及び図2を参照して説明する。図2は全体構成を概略的に示している。この図2において、リーダライタ1は上位装置2からの指令に応じて動作し、ICカード3が存在すると判断したときは、後述するようにICカード3と通信するようになっている。

【0013】ここで、リーダライタ1は、複数の通信方式または通信速度でICカード3と通信可能となっており、上位装置2からの指令に応じて通信方式(ASK100%/モディファイドミラー方式或いはASK10%/NRZ通信方式など)または通信速度を変更するようになっている。

【0014】図1は上位装置2、リーダライタ1、ICカード3間の通信シーケンスを示している。尚、リーダライタ1の通信エリアには通信方式2のICカード3が既に位置しているものとする。

【0015】図1において、上位装置2は、まず、通信方式1のICカード3が存在するかを判断するために通信方式1の初期コマンドをリーダライタ1に送信する。リーダライタ1は、上位装置2からのコマンドを判定し、通信方式1で初期コマンドを送信する。このとき、リーダライタ1の通信エリアには通信方式2のICカード3が位置しているものの、通信方式が異なるので、通信方式2のICカード3はリーダライタ1からのコマンドに対して応答することはない。従って、リーダライタ1は、所定時間経過するまでにICカード3からの応答が無いので、上位装置2にICカード3からの応答がないことを返信する。続いて、上位装置2は、通信方式2のICカード3が存在するかを判断するために通信方式2の初期コマンドをリーダライタ1に送信する。

【0016】リーダライタ1は、上位装置2からのコマンドを判定し、通信方式2で初期コマンドを送信する。このとき、リーダライタ1の通信エリアには通信方式2のICカード3が位置しており、そのICカード3が応答するので、リーダライタ1は、ICカード3からの応答があったことを上位装置2に返信する。

【0017】ここで、上位装置2は、リーダライタ1から通信方式2のICカード3が存在することを返信されたときは、通信方式を2に設定することをリーダライタ1に指令する。リーダライタ1は、上位装置2からの指令に応じて通信方式を2に設定し、設定終了を上位装置2に返信する。

【0018】続いて、上位装置2は、通常通信時のコマンドをリーダライタ1に送信する。リーダライタ1は、上位装置2からのコマンドを判定し、通信方式1に代えて通信方式2でコマンドを送信する。これにより、リーダライタ1は、以後においては通信方式2でICカード3との通信を再開するようになる。

【0019】さて、上位装置2は、上述したような通常

通信動作において定期的に他の通信方式のICカード3が存在するかを判断している。◎即ち、上位装置2は、通信方式2での通常通信時において通信方式1のICカード3の存在を検出するときは、通信方式1の初期コマンドをリーダライタ1に送信する。

【0020】リーダライタ1は、上位装置2からの初期コマンドを判定し、通信方式1で初期コマンドを送信する。このとき、リーダライタ1の通信エリアには通信方式1のICカード3は位置しておらず、所定時間経過するまでにICカード3からの応答は無いので、リーダライタ1は、そのことを上位装置2に返信する。上位装置2は、リーダライタ1から通信方式1のICカード3からの応答が無いことを返信されたときは、通信方式2のICカード3との通信を復帰させるために通常通信時のコマンドをリーダライタ1に送信する。

【0021】リーダライタ1は、上位装置2からのコマンドを判定し、通信方式1に代えて通信方式2でコマンドを送信する。このとき、通信方式2のICカード3が応答するので、リーダライタ1は、その応答を上位装置2に返信する。そして、以後においては、上位装置2は、当初の通信方式である通信方式2でICカード3の通信を再開することができる。

【0022】一方、図3は、リーダライタ1の通信エリアに複数のICカード3が存在する場合の上位装置2、リーダライタ1、ICカード3間の通信シーケンスを示している。この図3において、上位装置2は、通信方式1の初期コマンドを送信する。リーダライタ1は、上位装置2からのコマンドに応じて通信方式1及び通信方式2で初期コマンドを送信する動作を繰返している。

【0023】さて、このようなリーダライタ1からの初期コマンドの繰返し送信状態で、図3に示すようにリーダライタ1の通信エリアに通信方式1及び通信方式2のICカード3が同時に位置したときは、リーダライタ1から次のタイミングで送信される通信方式の初期コマンドに応じて当該通信方式のICカード3が応答するようになる。

【0024】図3に示す例では、リーダライタ1から通信方式1の初期コマンドが送信されるのに応じて通信方式1のICカード3が応答するので、上位装置2は、リーダライタ1から通信方式1のICカード3が応答したことが返信されるのに応じて、リーダライタ1の通信方式を1に設定する。これにより、リーダライタ1は、以後においては通信方式1でICカード3と通信する。

【0025】ここで、上位装置2は、ICカード3との通信動作中に通信方式2のICカード3が存在するかを判断するときは、通信方式2の初期コマンドをリーダライタ1に送信するので、リーダライタ1は、通信方式2で初期コマンドを送信する。このとき、リーダライタ1の通信エリアには通信方式2のICカード3が存在しているので、通信方式2のICカード3が応答する。

【0026】上位装置2は、リーダライタ1からICカード3から応答があることが返信されたときは、リーダライタ1の通信方式を2に設定する。これにより、リーダライタ1は、以後においては通信方式2でICカード3と通信するようになる。

【0027】以上のようにして、リーダライタ1は、ICカード3との通信中においては上位装置2からの指令に応じて他の通信方式に切替えることにより通信方式が異なるICカード3の存在を検出することができる。

【0028】このような実施の形態によれば、リーダライタ1はICカード3との通信動作中に上位装置2から異なる通信方式でICカード3と通信することを指令されたときは、指令された通信方式でICカード3と通信し、ICカード3が応答したときはそのことを上位装置2に返信するようにしたので、上位装置2は通常通信動作中にかかわらずICカード3の存在を検出することができる。

【0029】また、リーダライタ1は、通常通信動作中においてICカード3と通信中の通信方式と異なる通信方式で初期コマンドを送信してから、次に通常通信用のコマンドを送信する際は、当初の通信方式で送信するので、上位装置2から通信方式を復帰させるための指令

をリーダライタ1に与える必要がなく、上位装置2が通信方式を管理する負担を軽減することができると共に、通信時間の短縮を図ることができる。

【0030】本発明は、上記実施の形態に限定されるものではなく、次のように変形または拡張できる。リーダライタ1は、上位装置2からのコマンドに応じてICカード3との通信速度を切替えるようにしてもよい。このような構成は、高速通信可能なICカードと通信する際に有効である。

【0031】初期通信時にリーダライタ1の通信エリアに位置するICカード3毎の通信方式及び通信速度などのカード情報を予め取得し、ICカード3と通信する際は予め取得したカード情報に基づいてICカード3と通信するようにしてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態における通信シーケンスを示す図

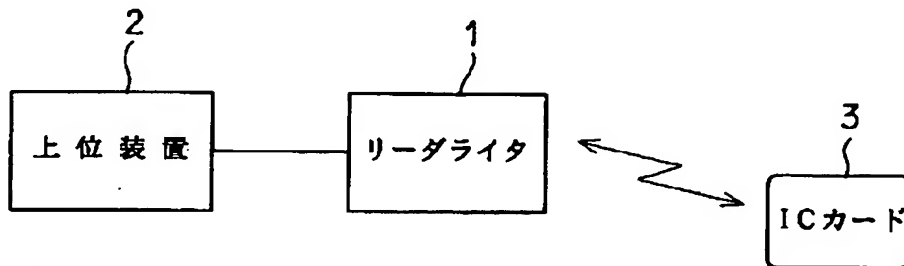
【図2】全体構成を概略的に示すブロック図

【図3】ICカードが複数枚における図1相当図

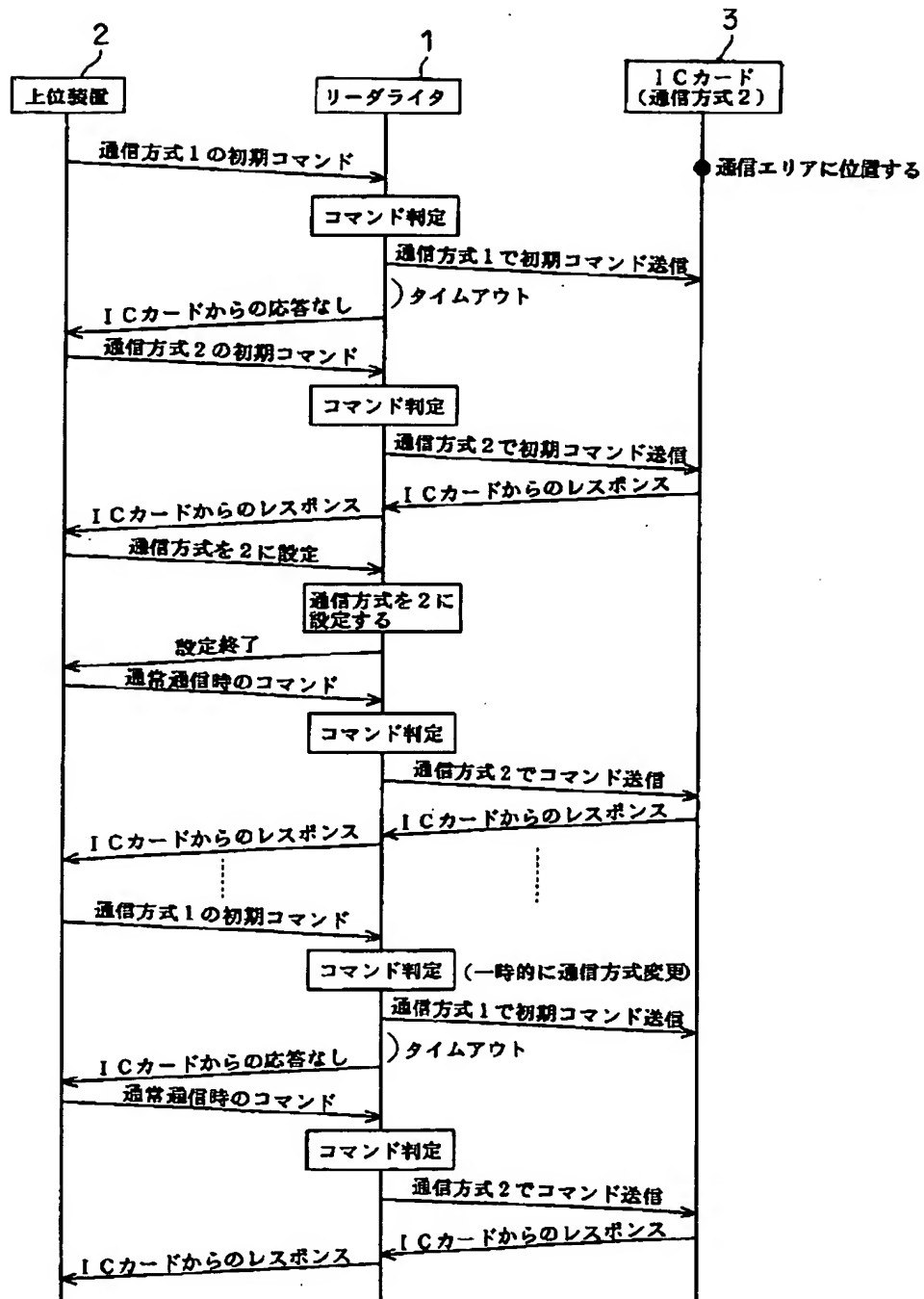
【符号の説明】

1はリーダライタ、2は上位装置、3はICカードである。

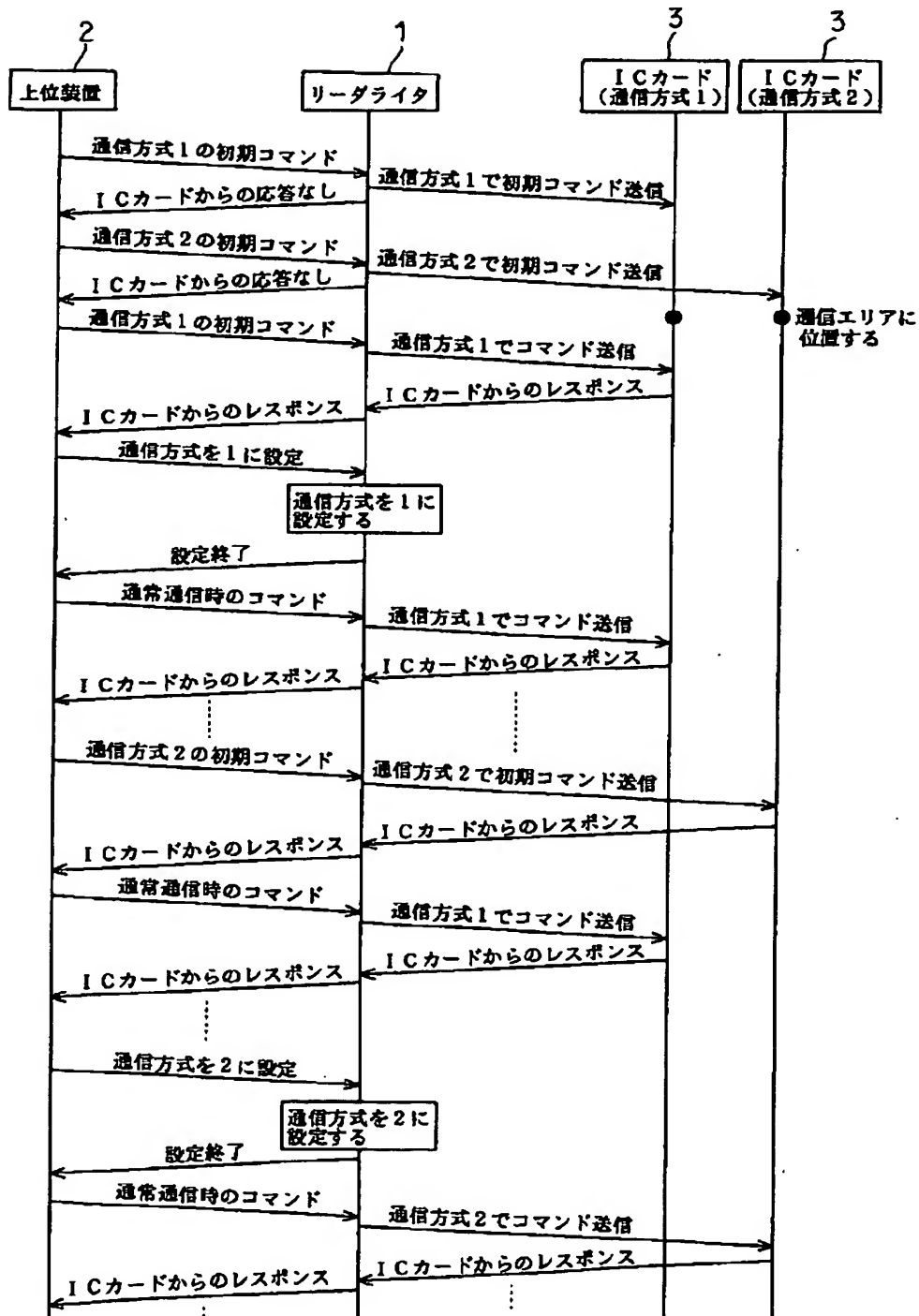
【図2】



【図 1】



【図3】



This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images
problems checked, please do not report the
problems to the IFW Image Problem Mailbox**